

南草津病院では、患者様の離床機会の提供のためにロールピクチャーを行っています。今回の作品は離床することに拒否的な患者様に対して始めた作品になります。

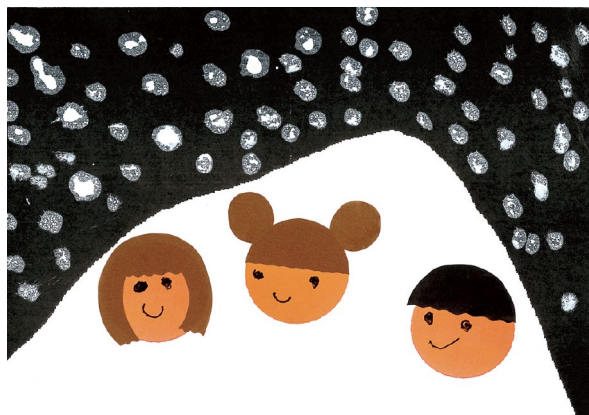
その作業の中で患者様が日に日にリハビリ室に来てくださるようになり、最後には楽しみにしてくださるようになりました。また気がつけば集団での活動に変化し、他の患者様と交流をもつようにもなれました。

ロールピクチャーは工程も多く、作業の段階づけ等もしやすいため、幅広い方に参加していただけます。また、作品づくりを通して他者と交流がもてたり、普段見られない様子が見られたりします。皆さんが真剣に取り組まれていたり、楽しそうにやっておられる姿を見ていると、自分の役割や居場所があることの大切さと作業の素晴らしさを感じます。（担当 OT：守屋篤志）



## 今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



大石さくら

「ゆきのひのすてきなよる」

ゆきのひのすてきなよる。すてきなゆきのひのかまくら。みんなでなかよくおしよくじ中。すてきなはなしがきこえてきそうですね。

パソコンで、はいけいをつくるとき、うまくドームがたにならなくて、たいへんだったけど、このかたちもきにいています。これをつくってみて、えらばれるとおもってなかったから、おどろきとよろこびがあります。えらんでもらえて、うれしいです。